

製品安全データシート

改訂年月日 2010年11月25日

1. 製品名及び会社情報

製品名 **家具用ワックス (エアゾール 330ml)**
会社名 株式会社リンレイ
住所 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目10番13号
担当部門 秦野工場 生産技術課
電話番号 0463-81-5455
FAX 番号 0463-82-4700
推奨用途 家庭用ワックス

2. 危険有害性の要約

GHS 分類
可燃性/引火性エアゾール:区分2
急性毒性/経口:区分5
急性毒性/経皮:区分4
皮膚腐食性/皮膚刺激:区分3
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:区分2B
吸引性呼吸器有害性:区分2

GHS のラベル要素
シンボル



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 :

- ・可燃性/引火性の高いエアゾール
- ・飲み込むと有害のおそれ
- ・皮膚に接触すると有害
- ・軽度の皮膚刺激
- ・目刺激
- ・飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名/化学名	含有量 wt%	CAS.No.	化 審 法 No.	安全衛生法 No. 通知対象物	PRTR 法 No. 第1種、第2種
シリコーンオイル	1-5	63148-62-9	7-476	非該当	非該当
非イオン界面活性剤	1未満	非公開	—	非該当	非該当
陰イオン系界面活性剤	1未満	非公開	—	非該当	非該当
石油系溶剤	1-5	非公開	—	非該当	非該当
防腐剤	微量	非公開	—	非該当	非該当
香料	微量	非公開	—	非該当	非該当
水	80-85	7732-18-5	—	非該当	非該当
噴射剤(LPガス)	5-10	74-98-6	(2)-3	非該当	非該当

4. 応急措置

目に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・大量の水及び石けん又は皮膚用洗剤を用いて十分に洗い落とす。
- ・溶剤、シンナーは使用しないこと
- ・外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合

蒸気、ガスを大量に吸い込んだ場合

- ・直ちに医師の診断を受ける。
- ・直ちに空気の清浄な場所に移し、安静にする。
- ・呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。

蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合

- ・空気の清浄な場所で安静にする。
- ・必要であれば医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

- ・被災者に意識がある場合、水をコップ1～2杯飲ませ、吐かせない。口の中を水でよく洗う。
- ・被災者に意識がない場合、口から何も与えてはならない。また、吐かせてもならない。
- ・安静にして、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

使用可能な消火剤：炭酸ガス、泡、乾燥砂、噴霧水等

消火方法：可燃生の物を周囲から取り除く。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

環境に対する注意事項

- ・河川などへ排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- ・地域の規則に従う。

回収方法

- ・火花が発生しないように、プラスチック製などの用具を用いて回収する。
- ・多量に漏出した場合：まず、土のう等で拡散を防止し、凝集・凝固剤等で凝集措置をしてから回収する。
- ・少量の場合：乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

<技術的対策ならびに注意事項>

- ・換気のよい場所で取り扱う。
- ・保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・容器(噴射口)は噴霧するときのみ出にし、それ以外は止にする。
- ・周囲に人やペットがいないこと確認してから使用する。

<安全取り扱い注意事項>

- ・酸化性物質との接触を避ける。

保管

<保管条件>

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風のよいところに保管する。
- ・火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・酸化性物質との同一場所保管を避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備とすること。

保護具

目の保護 :ゴーグル等を使用する。

皮膚および身体の保護 :皮膚を露出しない着衣、化学薬品が浸透しない材質の手袋を着ける。

呼吸系の保護 :有機ガス用防毒マスクを着用する。必要に応じて送風マスクを使用する。

9. 物理的及び化学的性質（内容液の性質）

物理的状態	乳白色液体
臭気	特有の香気
水への溶解性	溶解しない
沸点	データなし
蒸気圧	データなし
pH	6.3 (@25°C、参考値)
粘度	データなし
不揮発分	5.0%
比重	0.99 (@25°C)
引火点	なし
発火点	なし
その他	特になし

10. 安定性及び反応性

安定性	一般環境下で安定
危険な反応	なし
避けるべき条件	40°Cを超える環境
避けるべき材料	強酸化剤との混合禁止
危険有害な分解生成物	なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	区分 5
	経皮	区分 4
	吸入	データなし
皮膚腐食性・刺激性		区分 3
眼に対する重篤な損傷制・刺激性		区分 2B
呼吸器感作性		区分外
皮膚感作性		分類できない
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性		分類できない
生殖毒性		分類できない
特定標的臓器・単回暴露		分類できない
特定標的臓器・反復暴露		分類できない
吸引性呼吸器有害性		区分 2

12. 環境影響情報

水生環境	
急性有害性	データなし
慢性有害性	データなし
その他	一般環境内には廃棄しない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・廃液等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さない事。
- ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律および
- ・関係する法規に従って処理を行うか、委託する事。

- ・地域の規則に従う。
- 汚染容器・包装
- ・容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
 - ・地域の規則に従う。

14. 輸送上の注意

国連分類 高圧ガス、可燃性ガス毒性なし、クラス 2.1

国連番号 エアゾール 1950

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合、法令に従って輸送する事。

内陸水路輸送: 船舶安全法の定めに従う。

海上輸送: 船舶安全法の定めに従う。

航空輸送: 航空法の定めに従う。

15. 適用法令

消防法	該当しない
PRTR 法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	2 高圧ガス 引火性ガス

16. その他の情報

特になし

(注意) 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。